



頻繁に訪れてもらえる、住み続けられる地域づくり

主担当部局：南部東部振興監



なんゆう祭メイン会場（五條市）



移住者の職と住の拠点整備～下市木工舎「市 ichi」

## 目指す姿

魅力的な観光資源づくりや、情報発信の強化、多様なイベントの開催、仕事の確保や医療・福祉、教育などの充実、災害への備えなどを進め、南部地域・東部地域を「頻繁に訪れてもらえる、住み続けられる」地域にします。



● 南部地域・東部地域の  
交流人口(観光客数)を  
平成32年までに

### 830万人

にすることを目標します。

(平成25年：666万人)

● 南部地域・東部地域  
への二地域居住・移  
住を増加させ、

### 人口の社会増

を目標します。

● 自分の住んでいる地域の活気  
や魅力に対する

### 満足度

を高めます。

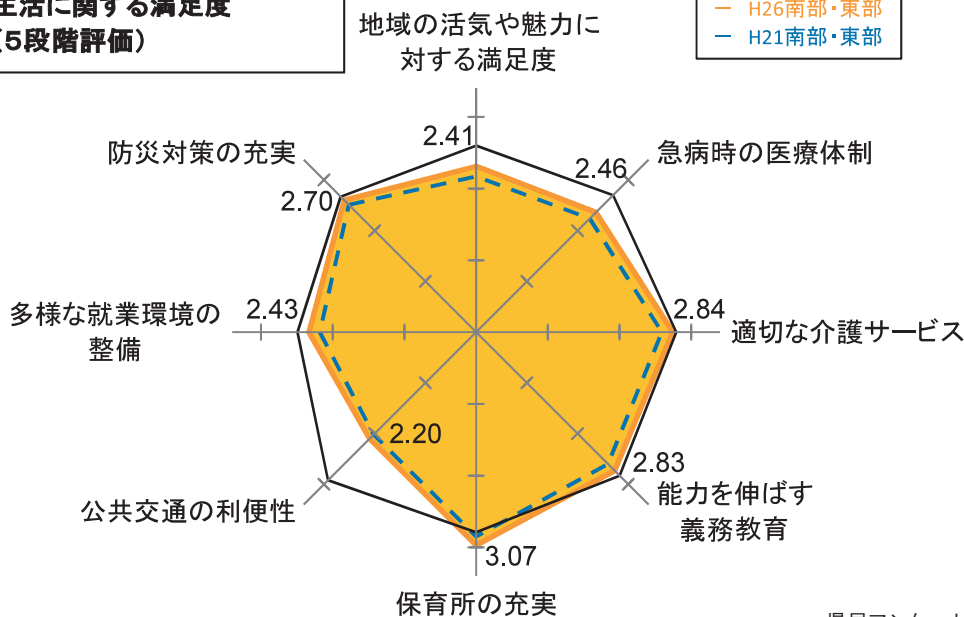
(平成26年度県民アンケート  
調査〈5段階評価〉 南東部地  
域2.32、南西部地域2.51、  
東部地域2.40、県全体2.70)

# 現 状

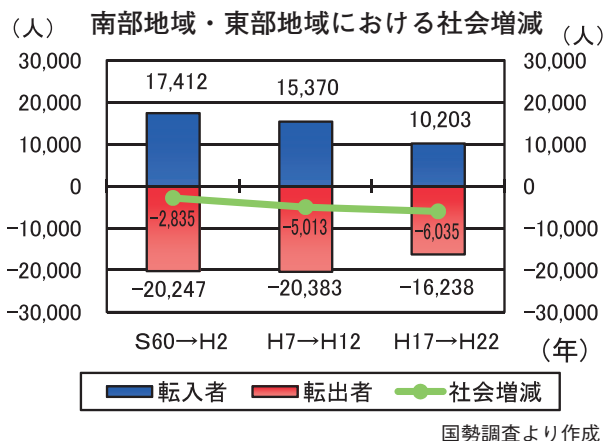
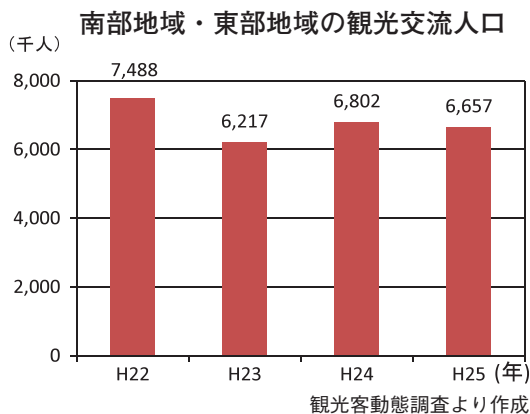
## 分 析

### ■ 主な指標

南部地域・東部地域における生活に関する満足度 (5段階評価)



県民アンケート調査



- 南部地域・東部地域の観光交流人口は、紀伊半島大水害の影響により平成23年には前年を下回ったものの翌年には回復し、その後は横ばいの状況です。
- 南部地域・東部地域の人口の社会増減は、転入者数より転出者数が上回る「転出超過」の状態であり、過疎化は進行しています。

## 戦略1

### 南部地域・東部地域での交流を促進します。

主担当課：地域振興部 南部東部振興課

#### 戦略目標

- ▶ 特色ある観光基盤の整備を推進し、**南部地域・東部地域の魅力を向上**させます。
- ▶ 観光客数を増やすとともに**南部地域・東部地域のファンを増やす**ため、**情報発信を強化**します。
- ▶ 観光客数を増やすため、**オフシーズンのイベント開催や、おもてなしの向上**などを**進めます**。

#### 取り組み

##### 観光資源となる地域資源の発見と創出

特色ある食と宿泊施設等の整備推進  
美しい景観づくり  
地域資源を活用した魅力づくり  
多様なスポーツ施設の整備

##### 南部地域・東部地域の魅力を多くの人に知ってもらうための情報発信

情報発信の強化

##### 実際に南部地域・東部地域を訪れてもらうための仕掛けづくり

スポーツイベントの開催  
音楽・芸術イベントの開催  
地域資源を活用したイベントの開催  
交通アクセスの支援  
おもてなし力の向上  
誘客促進の仕掛けづくり



ご当地「じゃらん」シリーズ



Kobo Trail 2014

工程表

項目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
観光資源となる地域資源の発見と創出				
◎特色ある食と宿泊施設等の整備推進 ・地域の食と農を活かしたオーベルジュ等の整備とネットワーク化		実態調査・基本計画	オーベルジュの整備推進・ネットワーク化	
◎美しい景観づくり ・「なら四季彩の庭」づくりの推進 ・森林とのふれあいの推進		市町村・地元団体等の支援、植栽計画の広報・普及 立入利用、眺望活用のための整備	継続等の検討	
◎地域資源を活用した魅力づくり ・歴史・文化を活用した魅力づくり ・地域交流施設の活用		飛鳥京跡苑池の公有化、遺構整備	うだ・アニマルパークにおける各種体験イベントの開催	
◎多様なスポーツ施設の整備 ・広域的な自転車利用ネットワークの整備推進	サイン等の整備		広域的な自転車道等の整備検討	
南部地域・東部地域の魅力を多くの人に知ってもらうための情報発信				
◎情報発信の強化 ・雑誌、Web、映像等による情報発信 ・首都圏等での情報発信 ・外国人観光客への情報発信		様々な媒体等による情報発信	奈良まほろば館、主要駅などでの奈良の魅力の効果的な情報発信	情報発信
実際に南部地域・東部地域を訪れてもらうための仕掛けづくり				
◎スポーツイベントの開催 ・「Kobo Trail ～弘法大師の道～」の開催支援 ・「小辺路トレイルジャーニー」の開催支援 ・アウトドアスポーツイベントの開催 ・サイクルスポーツイベントの開催支援		「弘法大師の道」を活用したトレイルランニングレースの開催支援 熊野古道小辺路でのトレイルランニングイベントの開催支援	アウトドアスポーツイベントの実施	開催支援
◎音楽・芸術イベントの開催 ・音楽フェスティバルイベントの開催		準備	開催	
◎地域資源を活用したイベントの開催 ・県・市町村等共同開催イベントの実施	準備	なんゆう祭開催	準備	開催
◎交通アクセスの支援 ・路線バスを利用し地域へ来訪して宿泊した観光客のバス利用にかかる経費補助 ・観光地への良好なアクセス道路の整備		導入	実施	国道168号・国道169号等の整備
◎おもてなし力の向上 ・地域のおもてなし力向上支援			地域イベントを盛り上げる「おもてなし」プログラムへの支援	
◎誘客促進の仕掛けづくり ・宿泊を伴う合宿の誘致				宿泊者誘致の取り組み

## 戦略2

### 南部地域・東部地域での定住を促進します。

主担当課：地域振興部 南部東部振興課

#### 戦略目標

- ▶ 働く場所を増やすため、**農林業の振興や企業誘致などを進めます。**
- ▶ 健康・医療・福祉・介護の充実などを進め、地域で**「住みたい」「住みやすい」と思う人の割合を増やします。**
- ▶ 災害による**死者をなくす・人命を守る**ことを最大の目標に、できる限り**被害を減少**させます。
- ▶ 南部地域・東部地域への**二地域移住・移住者を増加**させます。

#### 取り組み

##### 働く場所づくり

農産物等のブランド化・生産拡大の推進  
「A・B・C材全てを出して使う」林業・木材産業の推進  
漢方のメッカ推進プロジェクト  
企業誘致の推進、地域の産業興し

##### 暮らしやすい地域づくり

健康、医療、福祉、介護の充実  
教育の充実、子育ての支援  
買い物等の支援、移動手段の確保  
文化の振興、集落の維持・活性化

##### 災害に強いインフラの整備

インフラ整備と災害への備え  
防災力向上と紀伊半島大水害の次世代への継承

##### 移住の推進

二地域居住・移住を受け入れる仕組みと拠点の整備  
移住者の働く場の確保



「おおう元気会議」による取り組み  
～消防署による見守りを兼ねた防火訪問

工程表

項目	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
働く場所づくり				
◎農産物等のブランド化・生産拡大の推進				柿老木園の更新・新規加工品開発、首都圏PR、輸出拡大・定着支援 高級かぶせ茶・てん茶の生産支援、リーフ茶消費促進
◎「A・B・C材全てを出して使う」林業・木材産業の推進 ・A・B・C材全てを搬出し多用途に供給する林業への転換 ・A・B・C材毎の受け皿の確保と県産材製品の安定流通実現		奈良型作業道開設、林業機械導入等への支援 A材の搬出・運搬に対して支援	A・B・C材全ての搬出・運搬に対して支援	木材産業の競争力強化のための取り組み実現
◎漢方のメッカ推進プロジェクト				漢方の6次産業化に向けた具体的取り組みの検討・実施
◎企業誘致の推進、地域の産業興し ・中南和振興のための産業集積地形成 ・南部地域・東部地域への企業立地を促進		測量、設計等		造成 南部地域・東部地域への企業誘致強化
暮らしやすい地域づくり				
◎健康、医療、福祉、介護の充実 ・市町村における地域包括ケアシステムの構築を支援 ・南和地域の医療提供体制の充実 ・へき地医療の充実		市町村支援の実施 南奈良総合医療センター新築工事 吉野病院改修工事		市町村支援の実施、検証・見直し 供用 供用 五條病院改修工事 供用 へき地を支える医師の確保
◎教育の充実、子育ての支援 ・県立高校の特色化、活性化 ・へき地教育の充実 ・NPO・企業・市町村等多様な主体間の協働による結婚・子育て支援活動の推進			全国募集と環境整備 教員確保、指導の充実	ネットワーク構築・活動助成・情報発信・セミナー開催
◎買い物等の支援、移動手段の確保 ・過疎地域等における基幹的な生活交通の確保				関係市町村・交通事業者等との協議、施策の推進 連携協定に基づく奈良交通㈱との協議、施策の推進
◎文化の振興、集落の維持・活性化 ・地域の伝統文化の継承 ・新しい集落づくり				次世代の育成や被災地復興に対する支援 推進市村への支援

<b>災害に強いインフラの整備</b>			
◎インフラ整備と災害への備え			
・ 紀伊半島アンカールートの整備	国道168号「五條新宮道路」及び国道169号の整備推進 国道168号川津道路供用予定● 国道168号辻堂バイパス供用予定● 国道169号奥静道路（Ⅱ期）供用予定●		
・ 効率的・効果的な道路防災対策の推進	対策の推進		
・ 土砂災害対策の推進	対策の推進		
・ 山地災害の予防と復旧	緊急度、重要度の高い箇所を優先し、早期に実施		
・ 河道整備	紀の川の河川改修の実施		
・ 災害に強い森林づくり	森林整備のあり方の研究 ● 指針の作成 ● 今後の森林整備に活用		
・ 緊急時の情報通信ネットワーク確保	バックアップ回線の整備		
・ 地震に強い地域づくり	既存木造住宅の耐震化の促進		
・ 被災したインフラの復旧	完全復旧の推進		
・ 緊急時に備えたエネルギーシステムの構築	導入可能性検討	非常用電源等整備モデル事業の実施	導入支援
	LPガス発電導入支援		
◎防災力向上と紀伊半島大水害の次世代への継承			
・ 陸上自衛隊のヘリポートを併設した駐屯地の誘致	政府要望実施、気運醸成、陸上自衛隊が行う調査への協力		
・ 広域防災拠点の整備	基本構想調査	基本構想策定	候補地調査 ● 基本設計 ●
・ 市町村防災計画の見直し支援	モデル市町村の見直し支援	全市町村の見直し支援	継続して支援
・ 自主防災組織の組織化・活性化の促進	組織率の向上と活動への支援		
<b>移住の推進</b>			
◎二地域居住・移住を受け入れる仕組みと拠点の整備			
・ 体験プログラム等の実施	相談窓口の整備、移住体験プログラムの実施		
・ 受入体制の整備	移住・二地域居住希望者の受入体制の整備		
・ 拠点施設の整備支援	モデルプラン作成		
	施設整備・運営を支援		
◎移住者の働く場の確保			
・ 農家民宿への支援	開業支援、情報発信		
・ ふるさと復興協力隊等の配置	配置・活動支援		



移住モニターツアー

## これまでの成果

五條市辻堂地区の避難指示・勧告が平成26年12月に解除されたことに伴い、**紀伊半島大水害による避難指示・勧告が全て解除**されました。

吉野山から高野山までを舞台にした**トレイルランニングレース「Kobo Trail 2014」**を平成26年6月に開催しました。**169人が参加**し、このうち135人が完走しました。

紀伊半島大水害の被災地である**五條市、野迫川村、十津川村で復興住宅全24戸が完成**しました。

移住者の職と住の拠点として**下市町で整備を進めていた家具工房が平成26年12月に完成**し、移住者5名を迎え制作活動を開始しました。

**第34回全国豊かな海づくり大会～やまと～**が平成26年11月に**大淀町・川上村ほかで開催**され、やまと海づくりフェスタ会場となったJAならけんまほろばキッチンには約1万8千人の来場者がありました。

**移住セミナー**を平成26年9月より3回開催し、のべ**68人が参加**しました。

南部地域・東部地域の活性化を目指し、「**なんゆう祭2014**」を平成26年10月に**五條市で開催**し、約**2万人の来場者**がありました。

## 主な指標の動き

### ■よくなっている指標

#### 適切な介護サービスに対する満足度

**2.69**  
(平成21年度)



**2.84**  
(平成26年度)

平成21年度と比較して平成26年度では、地域で暮らし続けるための仕組みづくりを進めていることなどにより、南西部地域、南東部地域、東部地域の全ての地域で上回りました。

#### 防災対策の充実に対する満足度

**2.61**  
(平成21年度)



**2.70**  
(平成26年度)

平成21年度と比較して平成26年度では、紀伊半島大水害被災後の復旧事業の進展などにより、南西部地域、南東部地域、東部地域の全ての地域で上回りました。

#### 地域の活気や魅力に対する満足度

**2.27**  
(平成21年度)



**2.41**  
(平成26年度)

平成21年度と比較して平成26年度では、地域の振興に関する様々な取り組みを進めていることなどから、南西部地域、南東部地域、東部地域の全ての地域で上回りました。

#### 急病時の医療体制に対する満足度

**2.34**  
(平成21年度)



**2.46**  
(平成26年度)

平成21年度と比較して平成26年度では、地域医療体制の整備が進みつつあることなどから、南西部地域、南東部地域、東部地域の全ての地域で上回りました。

※5段階で評価しています